

方法論の一貫性が重要

仮に、特定の物質の削減が急務だいう認識があっても、
場当りのリスク評価を行うべきではない。
(他の物質もそれでやるならいい)

子供の影響に対する×10の不確実状係数
鋭敏なバイオマーカーの採用

リスク削減の効率を下げる。

トレードオフ等を考えると、リスクが増加することすらある。

リスク評価の信頼性を損なう。

リスク評価の結果は、多くの場合証明できない。
評価の方法が妥当と思えることこそが重要。